



新潟市ごみ減量
推進キャラクター
「サイチョウ」

新潟市の資源とごみの情報紙

サイチョウ PRESS

特集号
vol.
71
令和4年10月2日

3Rが進むまち リデュース! リユース! リサイクル!

【発行者】新潟市環境部循環社会推進課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL: 025-226-1391

サイチョウプレス

紙面内容は発行日に
市ホームページに掲載されます。



ご感想
募集中!
はがきでも
どうぞ

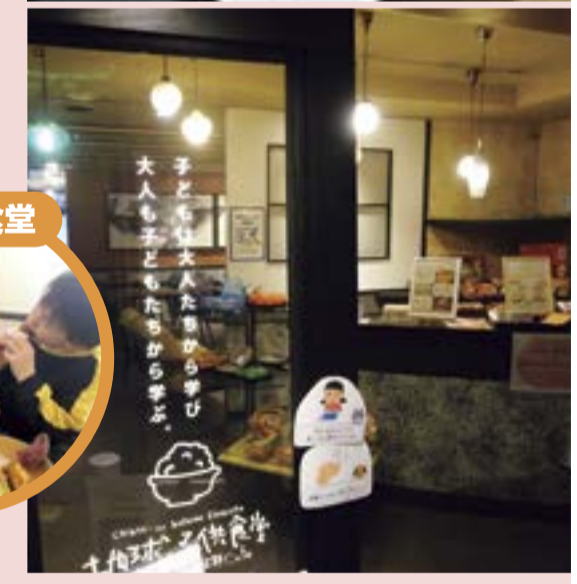
TOPIC » 10月は全国食品ロス削減月間

みんなで見直そう「食品ロス」

日本で捨てられている食べ物の量は、
1人1日おにぎり約1個分です。
「もったいない」を減らすために
市内でさまざまな取り組みが行われています。



企業から寄付された
店頭での販売期限が
過ぎた製品など



環境課題にこのまちで取り組む。
われら、ONEカンパニー
Official Niigata Eco vol.4

Pick up!

2021年オープン!

古町の子ども食堂 地球の子供食堂と 宿題Cafeの取り組み



NPO法人 Lily & Marry's
リリー アンド マリーズ

食事も宿題も遊びもできる子どもたちの居場所を目指してNPO法人
Lily & Marry'sが運営する子ども食堂。飲食代は中学3年生まで無料。
料理は併設する串カツ専門店「串カツ坂田」で作り、出来たてを提供。

串カツ坂田

併設していることで
飲食店の食品ロスも
有効活用

子ども食堂



余った食材



串カツ坂田 店長
坂田 祐介さん



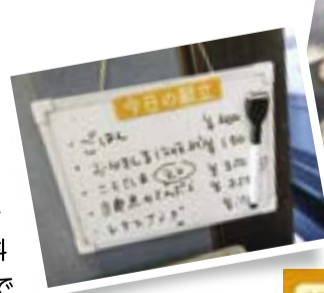
01 規格外食品の活用

農家さんから規格外野菜を提供してもらっています。
食堂は水曜日以外毎日営業しているので、
規格外野菜が出たときにいつでも受け取って
無駄なく活用することができ、農家さんにも
喜ばれています。



02 作り手への感謝

食べ残しを出さないように食べられる
量だけ自分で盛るビュッフェ方式を採用。
メニューボードには原材料費を表示し、
食後は自分で使った食器を洗うルールを
設けるなど、寄付してくれた人や料理して
くれた人のことを意識し、食堂でも自宅
でも「食事」に対して感謝の気持ちを育ん
でもらえるよう取り組んでいます。



子供食堂の
おやくそく▶

子どもたちがいつでも気軽に遊びに来て、心を休められる場所を作りたいと考えていました。
違う学校の同世代の友達やボランティアの大学生、私のような大人との交流が心の成長に
つながればと思っています。毎日、ご飯が食べられることは当たり前ではないこと。食事に係わる
人への感謝の気持ちを伝えたい。今後は農家さんとの収穫体験などを通じて、子どもたちと一緒
にフードロスについて考える機会を増やしていきたいです。

NPO法人 Lily & Marry's 代表 山田 彩乃さん



1市内子ども食堂の
一覧は新潟市社会
福祉協議会HPに
掲載されています

